

第6次水俣市総合計画

第2期基本計画

(2023年度～2026年度)



**みんなが幸せを感じ
笑顔あふれる元気なまち 水俣**

水 俣 市

第6次水俣市総合計画第2期基本計画の策定に当たって

本市では、総合的かつ計画的なまちづくりの指針として、平成31（2019）年度から令和8（2026）年度までの8年間を計画期間とする「第6次水俣市総合計画」を策定し、将来像「みんなが幸せを感じ 笑顔あふれる元気なまち 水俣」の実現に向けた取組を推進してまいりました。



前半の4年間となる第1期基本計画の期間では、市の財政再建に着手し、足腰の強い財政基盤の確立を図りつつ、6つの基本目標（政策分野）について幅広く政策を進めてまいりました。

特に、経済・産業の分野では約20年ぶりとなる工場等の新設を伴う企業誘致が実現し、新たな雇用の場が創出されました。また、エコパーク水俣においては、新物産館「Shop&Cafe ミナマータ」及びみなまた木のおもちゃ館「きらら」がオープンし、本市の新たなランドマークとして多くの方々に御利用いただいております。加えて、教育・福祉分野では、市内小中学校への空調設備の導入やキッズサポーター基金の創設、子ども医療費及びインフルエンザ予防接種の助成対象の拡充や学校給食費の一部無償化、満75歳以上の高齢者や障がい者を対象としたみなくるバス運賃無償化など多くの事業を実施し、公共サービスの向上を図ってまいりました。

後半の4年間としてこの度策定いたしました第2期基本計画では、人口減少と高齢化を見据えた本市の中長期のビジョンである「外貨を稼ぐ水俣」「選ばれる水俣」「活力生まれる水俣」の考え方や、近年急速に進むデジタル化の視点を計画に反映し、これらに関連する取組を重点施策として位置付けております。加えて、持続可能な開発目標「SDGs」の17のゴールを各施策に明記することで、総合計画の中でSDGsを一体的に推進していくこととしております。本計画に基づく取組を着実に推進し、人口減少下にあっても市民一人ひとりがより豊かになり幸せを実感できるまちを実現してまいります。

結びに、本計画の策定に当たり、活発な議論を重ねていただきました水俣市総合計画策定審議会委員の皆様をはじめ、市民アンケート調査やパブリック・コメントなどを通して、貴重な御意見・御提言をお寄せいただきました市民の皆様並びに関係者の方々に対しまして、心から御礼申し上げますとともに、本計画の推進につきまして、引き続き御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和5（2023）年3月

水俣市長 高岡 利治

【目次】

第1部 序論

1	第2期基本計画策定の趣旨	2
2	計画策定の視点	2
3	総合計画の構成と期間	3
4	総合計画と他の計画との関連性	5
5	計画の進行管理	5
6	水俣市を取り巻く社会情勢と課題	6
(1)	人口減少と少子高齢化の進行	6
(2)	I C T技術による社会のデジタル化とD Xの推進	6
(3)	地球環境問題の深刻化	6
(4)	持続可能な開発目標（S D G s）への社会的関心の高まり	7
(5)	安全・安心なまちづくり	7
(6)	持続可能な行財政基盤の確立	8
7	総合計画とS D G sの一体的な推進	9

第2部 基本構想

1	基本理念	14
2	目指す将来像	14
3	施策の大綱	15
4	施策の体系	18

第3部 第2期基本計画

1	施策の体系	20
2	「3つのビジョン」	22
第1章	地域に根差した強い経済基盤づくり（経済・産業）	25
第2章	豊かな心で未来に挑戦する人づくり（教育・文化）	41
第3章	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり（保健・医療・福祉）	65
第4章	次代へつなぐ環境づくり（環境）	87
第5章	安全で安心して暮らせる生活基盤づくり（生活基盤）	101
第6章	持続可能な行財政基盤づくり（行政経営）	121

資料編	133
-----	-----